

わたり歴史通信「悠」

わたりちょうりつきょうどしりょうかん
巨理町立郷土資料館

◇展示資料紹介◇

郷土資料館の展示から資料を紹介し、巨理町の歴史・文化を伝える資料について知ってもらいたいと思います。今回は、現在開催中の第27回収蔵資料展から1点紹介します。

【不動講護摩祈禱会御札】

この資料は、平成17年(2005)11月23日、胎蔵院(巨理町逢隈中泉)にて行われた不動講護摩祈禱会で渡されたもので、胎蔵院の活動を伝えてくれる重要な資料です。

胎蔵院の歴史は古く、室町時代の文安4年(1447)、中泉村吹上(現岩沼市吹上)に修験道場として開山されたことに始まり、その後寛永2年(1625)に現在の場所に移転し、明治はじめに政府が修験道廃止の政策を出したため、天台宗の寺院に変わりました。

不動講は昭和24年(1949)、信者の福祉増進と胎蔵院の復興のため結成されました。毎年11月23日に護摩祈禱会を行って世界平和・交通安全・家内安全・諸願成就を願っています。

御札は「火之用心」「交通安全」「家内安全」の3種類を展示していますので、この機会にぜひ収蔵資料展にてご観覧ください。

第27回収蔵資料展

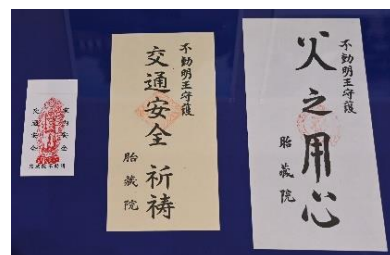
期間：2月22日(土)～5月11日(日)

会場：企画展示室 観覧料：無料

令和3年度に寄贈された資料約120点を展示しています



▲胎蔵院



▲展示中の「不動講護摩祈禱会御札」

文化財バーチャルツアー

巨理町ホームページの「ぶらっとわたり」では、町の文化財を360度自由に見ることができるバーチャルツアーを公開しています。今回は公開中のスポットのひとつ「湊神社」を紹介します。



湊神社は、弘和3年(1383)に巨理行胤(巨理氏8代当主)が建てたと伝えられています。サメに乗った十一面観音がご神体として祀られていて、地域の人々から篤く信仰されています。建物は、江戸時代末期の特徴が残っていることから町指定文化財になっています。

バーチャルツアーでは、町指定文化財の決め手になった江戸時代末期の社殿彫刻を詳しく見たり、桜が咲く境内をめぐったりできます。ぜひご覧ください。

次号の「わたり歴史通信『悠』」は、7月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。

町制70周年記念特集

昭和30年(1955)の合併による「^{がっぺい}巨理町」の誕生から今年で70周年になります。では、合併する前はどのような町・村があったのでしょうか。

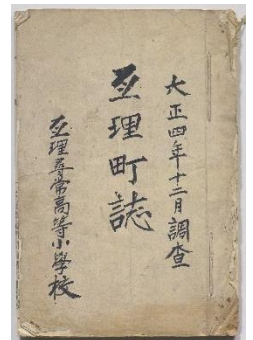
そこで、今年度は、合併前の^{わたりまち}巨理町・^{あらはまむら}荒濱村(※)・^{よしだむら}吉田村・^{おおくまむら}逢隈村で編集された郷土誌『^{きょうとし}巨理町誌』『^{わたり}荒濱村郷土誌』『^{よしだ}吉田村誌』『^{おおくま}逢隈村郷土誌』について特集します。当時の町や村のようすを知ることができる貴重な資料ですので、どうぞご期待ください！これらの郷土誌をまとめたものは『巨理町史資料編 第一集』として郷土資料館で販売中です。

※昭和18年[1943]から荒濱町

郷土誌『巨理町誌』について

明治22年(1889)、市制町村制が施行された際に誕生した巨理町の特徴をまとめた冊子で、大正4年(1915)以降に編集されたと考えられます。編者は不明ですが、筆跡の違ひから複数人が編集に関わっていたようで、町の沿革や学校、寺社、自治体制、風俗などの12章で構成されています。今回はその中からいくつか紹介します。

※文章は現代語訳しています



沿革

第一章「沿革」の中に「^{いしん}維新前後^お二於^{および}ケル革新及市町村制実施後二於ケル市町村分合等ノ事実」という項目があります。巨理町が誕生するまでの経緯は以下のように書かれています。

明治4年7月14日に^{はいはん}廃藩置県が行われると、本町は同年11月に^{せんたいげん}仙台県に編入され、巨理郡小堤村と称する。明治9年4月、巨理・宇多の2郡は^{いわさきけん}磐前県に合併され、同年8月21日、巨理郡のみ^{みやぎけん}宮城県に編入された。その際、本町は一大区小大区小堤村と称し、戸長が村を治めた。

明治12年、大区・小区の名称を廃止し、宮城県巨理郡小堤村と称する。そして、^{かしま}鹿島・^{じんぐう}神宮寺・^{かみごおり}上郡の3村を合わせて、小堤村ほか3村戸長役場と公称した。(中略)

明治17年になり、鹿島・神宮寺・上郡の3村を連合して小堤村ほか3村役場と称し、明治22年4月1日からは鹿島・神宮寺・上郡の3村と分離して巨理町と称し、現在に至る。(後略)

人物及名勝

第十一章「人物及名勝」では巨理の^{いじん}偉人・名所についてまとめられています。ここでは、偉人の中から、巨理伊達家家臣の^{だてけ}杉浦家(家老職を勤めるほどの格式ある家柄)の出身であり、画家、^{いちげんきん}一絃琴の演奏者として知られる^{どうそん}杉浦桐邨の説明を一部紹介したいと思います。

(前略)桐邨は、元々画家として身を起こし、後に一絃琴の名家となるが、ほとんど世の中に知られていなかったのは、当初その号を隈南と称し、水戸の画家として諸国を回ったため、水戸の人とばかり思われていたので、実績が判明しなかった。東京の^{うえだほうちく}上田芳竹という人物が来町・調査のうえ古い記録を集約して、明治44年6月8日の河北新報の紙面に発表し、桐邨の実績のあらましを世に明らかにした。

桐邨は享和元年(1801)巨理に生まれ、^{たかのしょうえちんのぶみつ}高野小右衛門信光の次男である。幼少時に^{しょうさえ}杉浦九郎左衛門長慶の養子になった。(中略)21歳から大番頭として勤めていたが、妻の病死により「人生は行雲流水のようだ」と感じ、世の中のわずらわしいことから離れることを志し、^{いんきょ}隠居した。天保6年(1835)、桐邨35歳のときだった。(中略)

桐邨は周防に滞在時に^{すおう}氷上山に登り、ある音楽家に師事して音律のことを尋ねて一絃琴が曲の音律に合うことを発見し、大いに理解した。こうして、一絃琴の正法というものを伝えた。これが、今日演奏されている一絃琴の正曲にして唯一の名曲「^{ゆいいつ}須磨」の曲譜である。(後略)

雛人形・つるし雛展を開催しました

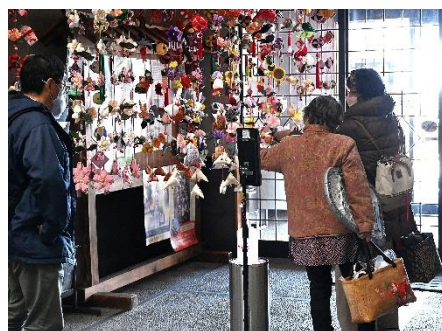
2月15日から3月16日にかけて、婚礼道具の調度品とともに亘理伊達家の雛人形とつるし雛を展示しました。雛人形は二十四節気の雨水(2025年は2月19日)に飾ると良縁に恵まれるといわれており、子供の健やかな成長と幸せを願う気持ちが込められています。



この雛人形は、亘理伊達家14代領主伊達邦成の三女佑子氏が嫁入り道具として嫁ぎ先の石川家に持参された古今雛です。

また、つるし雛は、江戸時代末期に「衣食住に困らないように」との願いを込めて小さな人形をたくさん作って吊るして飾ったことに始まります。亘理町においては、東日本大震災後に千葉県からボランティアで訪れていた方によって広く伝えられました。

今回も郷土資料館で所蔵しているもののほか、町内で作られている方の作品も展示しました。花や生き物、さらには干支や端午の節句をモチーフとしたもの、その他にも折り紙でつくられたものなど、たくさんのつるし雛が館内を彩り、来館された方は熱心につるし雛を見ていました。



三十三間堂官衙遺跡トピック vol5



令和6年度に行った史跡整備工事のようすをお知らせします。

三十三間堂官衙遺跡は、平安時代前半頃の亘理郡の役所跡です。遺跡の南側には建物の礎石がたくさん残っていて、当時税として納められた米を保管するための倉庫跡が10棟みついています。今回は、これまで草木に覆われていた3棟の建物跡の礎石をわかりやすくし、園路や案内広場予定地の盛土工事などを行いました。

①建物範囲の表面の草や土を取り除きました。礎石のなかには、割れてしまったものや位置がずれてしまったものもありますが、残っている状態のまま保存しました。

②遺跡保存のため盛土をしてから、礎石がなくなっているところに新たに石を置きました。石材は残っている礎石と同じ安山岩です。

③最後に芝を張って、建物の大きさをイメージしやすく整備しました。

整備後のようすは見学することができますが、工事中のため通行できないところもあります。お気をつけて散策してくださいね。

①



②



③



4月～6月の郷土資料館イベント情報



❀ 4/1～5/11 【第27回収蔵資料展】 9:00～16:30(入館は 16:00 まで)

❀ 5/3～6 【亘理町町制70周年記念 GWは郷土資料館へGO!】 9:00～16:30

各種イベントの詳細は以下のとおりです。

イベント名	日にち	時間
Smile(すみれ)座音楽会 [視覚障がい者の方々が素敵な曲を演奏します]	5/3	13:00～14:00
お城でコスプレin悠里館 [悠里館や遊歩道、公園などで写真撮影ができます]	5/3、5/4	9:00～16:00
ユニット折り紙でこいのぼりを作ろう [地域おこし協力隊員と一緒に折り紙で魚を作って、世界にひとつだけのこいのぼりを作って展示します]	5/3、5/4	11:30～14:30
手作り紙甲冑を着てみよう! [紙でできた甲冑を着て写真撮影ができます]	5/5、5/6	10:00～11:30、 13:30～15:00(各回30分)
ギャラリートーク [郷土資料館学芸員や地域おこし協力隊員が展示解説をします]	5/3～5/6	郷土をほどく—5/3・5/4 11:00～ 常設展示——5/5 11:00～、5/6 14:00～ 収蔵資料展——5/5 14:00～、5/6 11:00～
おもしろ体験 [昔の遊び、蓄音機の操作体験などが体験できます]	5/3～5/6	9:00～16:30
スタンプを集めてわたりんグッズをゲットしよう! [3日間来館してスタンプを集めるとわたりんグッズくじに参加できます]	5/3～5/6	9:00～16:30

※詳しくは町HP・LINE・広報でお知らせします

来館者報告

常設展 R7.1.5～3.30

- 開館日数…61日間
- 観覧者数…2,047人(1日平均34人)

第27回収蔵資料展 R5.2.22～3.30

- 開館日数…28日間
- 観覧者数…1,096人(1日平均40人)

令和6年度 郷土資料館観覧者数

- ◎開館日数…282日間(R5.4.1～R6.3.31)
- ◎観覧者数…16,348人(1日平均58人)

開館からの総観覧者数は257,621人です。

これからもみなさまのご来館を
お待ちしております!



おわりに

4月になり新たな年度が始まりました。町制施行70周年を迎えた亘理町がどのように盛り上がっていくのか楽しみです。実は、郷土資料館では常設展示室入口に設置している記念スタンプを新しくしました。ご来館の際には、ぜひ記念に押してみてください。



亘理町立郷土資料館利用案内

〒989-2351 宮城県亘理郡亘理町字西郷140

Tel: 0223-34-8701 E-mail: kyoudo@town.watari.miyagi.jp

*開館時間 9:00～16:30(入館は 16:00 まで) *観覧料: 無料 ※特別展等有料の場合あり

